



日本システム企画

配管更生装置を拡販

薬剤使わずレジオネラ菌殺菌

NMR利用で基本特許

日本システム企画(東京都渋谷区、熊野活行社長、03・3377・1110)は、主力の赤錆防止、殺菌などの配管更生装置事業で攻勢をかける。薬剤を使用せずにレジオネラ菌を殺菌する装置を開発、8月に発売するほか、核磁気共鳴(NMR)を利用した配管更生装置の基本特許を国内、海外で取得したことから、販促に力を入れ、年間売上高を現在の4億円から08年3月期には10億円に引き上げる。

日本システム企画が開発する装置「レジオネラター」でできた合金プレート3種類を内部に設置。装置内を水を通すことで水中のレジオネラ菌が、これら

のプレートに接触し、吸着、帯電などを繰り返すことで死滅するという。プールや風呂、冷却水などの循環水配管に設置して使用する。薬剤を使用しないため、人体や配管への悪影響がないほか、殺菌剤、外部電力などが不要のためランニングコスト面で

有利なのが特徴。対応配管径により13種類があり、需要の中心となる外径65φ、100φ、150φのタイプは価格は300万円～650万円。



また同社の主力製品である配管内赤錆防止・配管更生装置「NMRパイプテックター」がNMRを利用

した原理と装置の仕組みについての基本特許を日本と海外で取得。特許は米国についても認可される見通し。当社製品は国内の病院、工場、マンションなどのほか、英国のバックingham宮殿やホテルなどにも採用されている。特許取得によりユーザーへの信頼性はさらに「高まる」(熊野活行社長)とし、国内外での販売を強化していく。

銅、スズ、亜鉛、アルミニウムなどでできた合金プレート3種類を内部に設置